

# 第47期中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

# 47

# INTERIM REPORT

Good luck. Good life.

**SANKYO**

## ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。第47期中間報告書をお届けするにあたり、ここにご挨拶を申し上げます。

今後とも引き続き株主の皆さまの一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



代表取締役会長

木島 孝行



代表取締役社長

水井 明彦

## 近況のご報告と企業価値向上・株主還元策についての取り組み

東日本大震災の影響により、パチンコ・パチスロ市場は一時的な落ち込みを見せましたが、平成23年9月末現在、節電アクション等により懸念されておりましたパーラーの集客状況は回復しており、メーカーの部材調達難もほぼ終息にいたっております。一方、ここ数年の低貸玉営業の拡大はパーラーの収益構造に変化をもたらしており、新台購入に際しては少ロット・多品種分散購入の傾向を強めております。メーカーとして楽観できない状況下ではありますが、SANKYOグループでは自社の利益のみにとらわれることなく、全てのステークホルダーにご支持いただける市場拡大支援策を実施し、業界の成長とともに自社の売上・利

益の上昇を図ってまいります。

株主の皆さまへの利益還元につきましては、企業価値の向上とともに経営上の最重要課題の一つとして認識しており、配当に関しましては、連結当期純利益の25%を配当性向の目安とした指針を掲げております。安定的な配当で長期保有の株主の皆さまに報いるとともに業績の向上に沿った配当の継続的な増加を目指してまいります。また平成22年6月より株主還元の一環として自己株式の取得を実施しており、発行済株式総数の約3%を取得いたしました。今後も配当性向のみならず、自己株式の取得も含めた総還元性向も考慮し、積極的な株主還元策を検討してまいります。

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にあるものの、サプライ・チェーンの立て直しが進むなど一部では回復の兆しも見られました。しかしながら欧州における金融不安に加え円高の長期化や株安の進行などの要因により、景気の先行きにつきましては依然として不透明な状況が続いております。

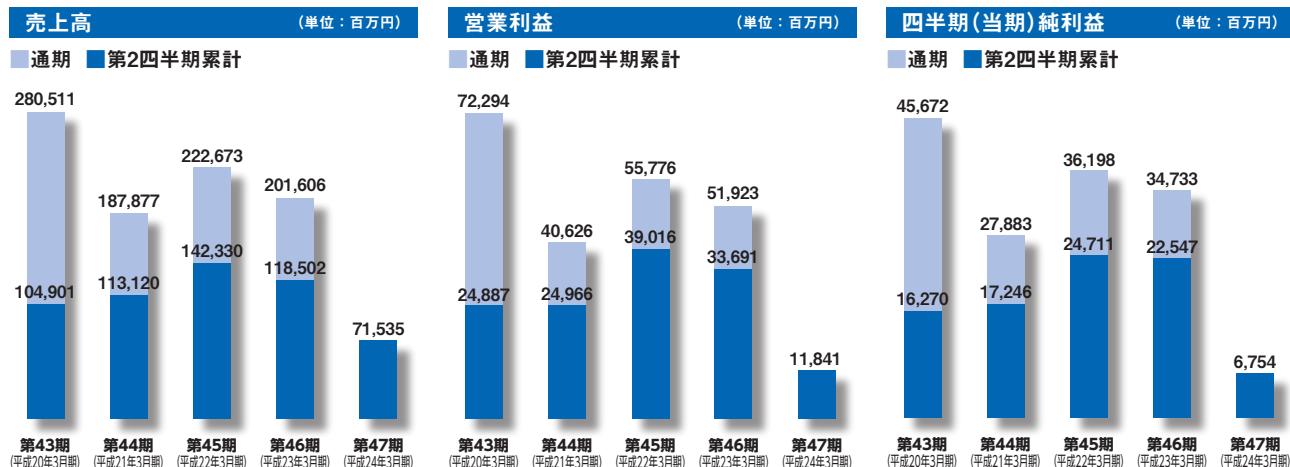
当パチンコ・パチスロ業界におきましては、震災直後にパーラーでの集客が大きく落ち込んだものの、遠方へのレジャーが控えられた状況下において身近な娯楽としてのパチンコ・パチスロの集客はいち早く震災前の水準へ回復しました。またパーラーにおける夏場の消費電力削減への取り組みが収益の低下につながる事が懸念されましたが、製造業を中心に国内各企業が節電への取り組みとして休日の長期化や分散を実施したことなどが、パーラーの集客増に寄与する動きも見られました。遊技機メーカーによる供給体制におきましても、部材不足などの問題は順調に回復に向かっており、市場全体の遊技機出荷台数は今年末に向けて本格的に回復していくことが予想されます。

当社グループにおきましては、前連結会計年度より「ファン目線での商品開発」を軸として人気が長期間持続する遊技機の提供に努めており、当連結会計年度につきましても中長期的なファンからの信頼獲得を重視する戦略を継続して推し進めております。また、WEB・モバイルを活用した遊技機連動による付加価値創造の仕組みを本格導入することを計画しており、更なるエンターテインメント性を追求することで徹底的にファンの囲い込みを図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、当社グループの遊技機に対するファン・パーラー双方からの評価が向上していること、また従来から取り組んでいる部材共通化などにより震災後の部材調達に大きな支障が発生しなかったことなどから、パチンコ機の販売が好調に推移し、平成23年8月4日に公表した業績予想修正の見込みどおりの着地となりました。

この結果、売上高715億円(前年同四半期比39.6%減)、営業利益118億円(同64.9%減)、経常利益139億円(同61.5%減)、四半期純利益67億円(同70.0%減)となりました。

## 決算ハイライト(連結) Consolidated Financial Highlights



(注) 第44期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度の導入により、便宜上第43期の「中間」の表記を「第2四半期累計」に変更しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ● パチンコ機関連事業

パチンコ機関連事業につきましては、SANKYOブランドで4シリーズ、Bistyブランドで1シリーズの販売を行いました。SANKYOブランドでは、パチンコ連動型モバイルサイト開設によりリピートプレー率の向上とアニメファンへの訴求を図った「フィーバーマクロスフロンティア」(平成23年5月)を中心に販売いたしました。Bistyブランドでは「CR ayumi hamasaki 浜崎あゆみ物語 -序章-」(平成23年7月)を販売し、日本を代表するアーティストをキャラクターとして採用したことでパチンコ業界内外から高い注目を集め、多くの方々にパチンコをプレーするきっかけを創造し、パチンコの新たな可能性を見出しました。

この結果、売上高499億円(前年同四半期比52.5%減)、営業利益116億円(同66.5%減)、販売台数143千台となりました。

## ● パチスロ機関連事業

パチスロ機関連事業につきましては、SANKYOブランドで当社オ

リジナルキャラクターを採用した「夢夢ワールドDXII」(平成23年9月)、Bistyブランドでは「SAMURAI 7」(平成23年5月)を販売いたしました。また、前連結会計年度末に投入した「モバスロ エヴァンゲリオン～真実の翼～」(平成23年3月)の一部が当連結会計年度への売上計上となっております。

この結果、売上高108億円(前年同四半期比158.7%増)、営業利益15億円(同2,322.9%増)、販売台数43千台となりました。

## ● 補給機器関連事業

補給機器関連事業につきましては、売上高99億円(前年同四半期比18.5%増)、営業利益3億円(同50.9%減)となりました。

## ● その他

その他につきましては、売上高7億円(前年同四半期比7.3%減)、営業利益2億円(同3.1%減)となりました。



フィーバーマクロスフロンティア  
©2007ビックウエスト / マクロスF制作委員会・MBS



CR ayumi hamasaki 浜崎あゆみ物語 -序章-  
©avex management inc.  
©avex entertainment inc.



夢夢ワールドDXII

## TOPICS ①

## 「SANKYOレディースオープン 2011」開催、 「ヨシキ・ファンデーション・アメリカ」へ支援金の贈呈



©JMA

当社主催の社団法人日本女子プロゴルフ協会公認トーナメント「SANKYOレディースオープン 2011」を平成23年10月7日から3日間の日程で開催いたしました。

吉井カントリークラブ(群馬県高崎市)で開催された当大会では、選手たちの白熱した試合が繰り広げられた結果、アン ソンジュ選手が大会初の二連覇を達成する偉業を成し遂げました。

表彰式では当社のイメージキャラクターである沢口靖子さんから優勝者へ賞金が手渡されました。また、X JAPANのリーダーであるYOSHIKIさんも駆けつけ、大会会長である当社代表取締役会長の毒島より今大会の入場料収入の全額を世界中で救いの手を必要としている子供たちへの支援を目的とした基金である「ヨシキ・ファンデーション・アメリカ」へ支援金として贈呈させていただきました。

## TOPICS ②

## 「SANKYO×ヤマト」復活！

平成21年に劇場公開されヒットとなった「宇宙戦艦ヤマト復活篇」とのタイアップ機として、パチンコ機「CRフィーバー宇宙戦艦ヤマト復活篇 立ち上がりヤマト」が登場します。盤面を飾る「波動砲」「主砲」「波動エンジン」などのギミックを駆使したインパクトある演出や超美麗CGによる大迫力のバトルシーンなど、「宇宙戦艦ヤマト」の世界観を忠実に再現しております。特に「V-コントローラー」で「波動砲」を打ち込むアクションは爽快であり、多くの方々に楽しんでいただけるパチンコ機となっております。全国のパーラーには12月上旬より順次導入される予定です。



©2009 ヤマトスタジオ /  
「宇宙戦艦ヤマト復活篇」製作委員会

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成23年3月31日現在)
<b>●資産の部</b>		
流動資産	311,697	354,220
固定資産	140,950	134,415
有形固定資産	47,612	48,225
無形固定資産	387	329
投資その他の資産	92,949	85,860
資産合計	452,647	488,636
<b>●負債の部</b>		
流動負債	31,423	63,364
固定負債	5,779	5,612
負債合計	37,203	68,977
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	415,230	419,250
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,880	23,880
利益剰余金	397,531	397,867
自己株式	△21,021	△17,337
その他の包括利益累計額	214	408
その他有価証券評価差額金	214	408
純資産合計	415,444	419,658
負債純資産合計	452,647	488,636

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
売上高	71,535	118,502
売上原価	38,934	56,305
売上総利益	32,600	62,197
販売費及び一般管理費	20,759	28,505
営業利益	11,841	33,691
営業外収益	2,099	2,535
営業外費用	11	10
経常利益	13,928	36,217
特別利益	8	29
特別損失	2,368	56
税金等調整前四半期純利益	11,568	36,189
法人税、住民税及び事業税	4,908	14,527
法人税等調整額	△94	△885
法人税等合計	4,813	13,641
少数株主損益調整前四半期純利益	6,754	22,547
四半期純利益	6,754	22,547

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,450	41,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,864	△1,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,824	△11,432
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,239	27,887
現金及び現金同等物の期首残高	243,230	218,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	229,990	246,303

●会社概要

- 商号 株式会社 SANKYO  
(登記社名 株式会社 三 共)
- 本社 東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
- 設立 昭和41年4月
- 資本金 148億4千万円
- 従業員数 連結：1,121名 単体：949名
- 主要な事業内容 遊技機の製造及び販売  
自動補給装置等の設計施工及び販売
- 連結子会社 株式会社三共エクセル  
株式会社ビスティ  
株式会社三共クリエイト  
インターナショナル・カード・システム株式会社
- 持分法適用会社 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス  
フィールズ株式会社

●役員

- |  |        |
|--|--------|
| 名誉会長                                       | 毒島 邦雄  |
| 代表取締役会長 CEO                                | 毒島 秀行  |
| 代表取締役社長 COO                                | 澤井 明彦  |
| 取締役副社長執行役員<br>管理本部、製造本部、<br>知的財産本部、経営企画部管掌 | 筒井 公久  |
| 常勤監査役                                      | 鶴川 詔八  |
| 監査役  | 石山 俊明  |
| 社外監査役                                      | 真田 芳郎  |
| 社外監査役                                      | 野田 典義  |
| 専務執行役員 管理本部長 兼 総務部長                        | 石原 明彦  |
| 常務執行役員 商品本部長                               | 瀬瀬 聡子  |
| 執行役員 製造本部長                                 | 瀧本 淳子  |
| 執行役員 営業本部副本部長 兼<br>パチスロ事業部長                | 小田部 利得 |
| 執行役員 営業本部 近畿ブロック長 兼<br>大阪支店長               | 富山 一郎  |
| 執行役員 営業本部 パラー事業部長                          | 吉川 実   |
| 執行役員 管理本部 情報システム部長                         | 古平 博隆  |
| 執行役員 商品本部副本部長                              | 福田 隆二  |
| 執行役員 商品本部副本部長 兼<br>商品戦略室長                  | 東郷 裕二  |

●株式の状況

発行可能株式総数	144,000,000株
発行済株式総数	97,597,500株
単元株式数	100株
株主数	12,297名

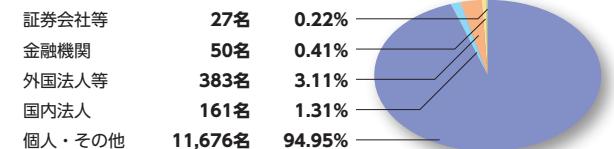
●大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
有限会社マーフコーポレーション	15,050	15.42
有限会社群馬創工	14,196	14.54
毒島邦雄	7,089	7.26
株式会社SANKYO	3,969	4.06
ステートストリートバンク アンド トラスト カンパニー	3,147	3.22
毒島秀行	2,910	2.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,588	2.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,562	2.62
赤石典子	2,333	2.39
毒島章子	2,333	2.39

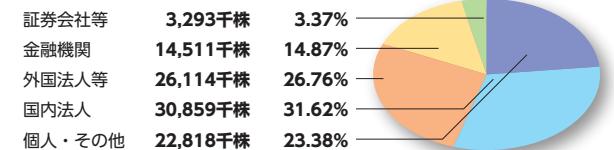
(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 出資比率は平成23年9月30日現在の発行済株式総数に対する比率であり、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

●株式分布状況

株主数構成比



所有者別株式分布



## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会 期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
単 元 株 式 数	100株
公 告 方 法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.sankyo-fever.co.jp/koukoku.html">http://www.sankyo-fever.co.jp/koukoku.html</a> なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行うものとします。
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。



## 株式会社 SANKYO

本 社：東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号 TEL. (03) 5778-7777 (代表)  
<http://www.sankyo-fever.co.jp/>